

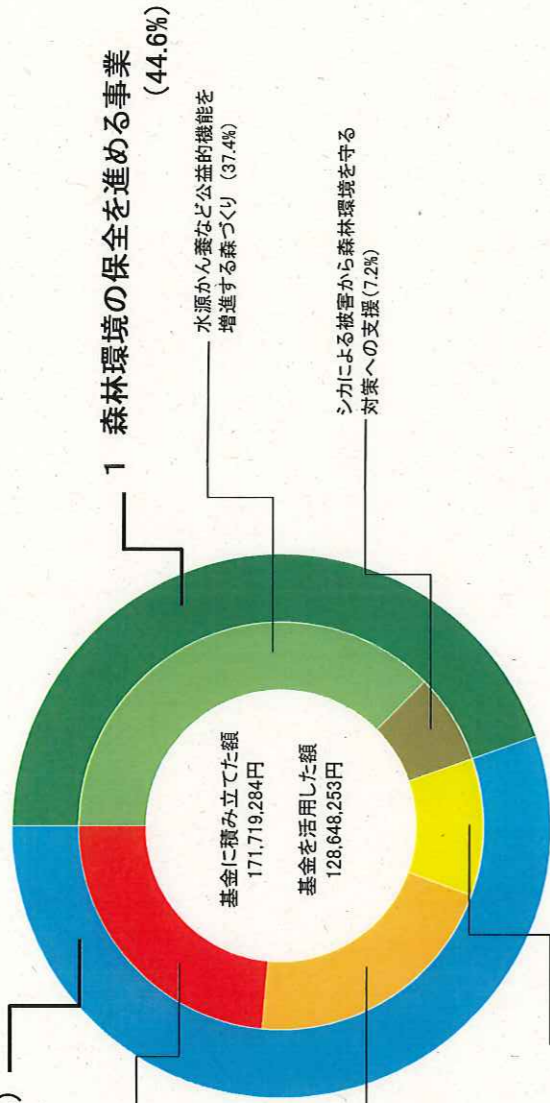
参 考 資 料

- ①平成 28 年度森林環境税の活用について(実績)
- ②平成 29 年度森林環境税活用事業一覧
- ③平成 28 年度森林環境税の活用について(予算額)
- ④第四期森林環境税を活用する事業の内容

平成28年度 森林環境税の活用について（決算額）

県民の皆様からお預かりした森林環境税で、森林の公益的機能を高めるための間伐や、シカ被害対策などの「1 森林環境の保全を進める事業」と、小中学校などで行われる森林環境教育や「こうち山の日」の取り組み、公共的施設の木質化などの「2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業」の2つの事業を柱に取り組みました。

2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業 (55.4%)



将来を担う子どもたちなどへの森林環境教育の支援 (10.9%)

〔内 訳〕

(一)一般財源 (入) 繰入金 (財) 財産収入 (寄) 寄附金収入		171,719,284 円	
■基金に積み立てた額		128,648,253 円	
事業名(担当課名)	決算額	内訳	内訳
1 森林環境の保全を進める事業	57,407,030 円	森林環境税の経理を区分するとともに、森林環境税による事業を計画的、効率的に実施するため、その税収相当額を基金に積み立てました。	森林環境保全基金積立額 171,719,284 円 ・森林環境保全基金造成額 171,512,091 円 ・運用益積立額 197,193 円 ・寄附金積立額 10,000 円
(1)水源かん養など公益的機能を増進する森づくり	48,151,430 円		
①公益林保全整備事業 (林業振興・環境部 木材増産推進課)	25,301,600 円	水源かん養機能等公益的機能が高い人工林(11~60年生)の保育間伐を推進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を行いました。	公益林保全整備事業費補助金 25,301,600 円
②シカによる被害から森林環境を守る対策への支援 (林業振興・環境部 木材増産推進課)	22,849,830 円	CO2吸収機能の高い人工林(11~45年生)の除間伐を促進しました。	みどりの環境整備支援交付金 22,849,830 円
③指定管理鳥獣捕獲等事業 (産業振興推進部 鳥獣対策課)	1,226,880 円	あらかじめ指定した実施区域内にて、委託した認定鳥獣捕獲事業者によってシカを捕獲しました。	指定管理鳥獣捕獲等事業費 1,226,880 円
④希少野生植物食害対策事業 (林業振興・環境部 環境共生課)	8,028,720 円	ニホンジカによる希少野生植物の食害被害を防止するため、現況調査や防護ネットを設置しました。	調査業務委託料 8,028,720 円 防護施設設置業務委託料 2,062,800 円 防護施設設置箇所モニタリング調査委託料 4,561,920 円 希少野生植物食害防止対策(防護施設設置)委託 1,404,000 円
2 県民の森林への理解と関わりを深め広げる事業	71,241,223 円		
(1)将来を担う子どもたちなどへの森林環境教育の支援	14,034,397 円		
⑤山の学習支援事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	12,115,240 円	小中学校が行う森林環境教育を支援しました。	山の学習支援事業費補助金 12,115,240 円
⑥森林環境保全事業 (教育委員会事務局 高等学校課)	1,014,197 円	都市部に在住する子どもたちと森林保全の重要性を体験を通じ理解してもらい、森林保全を支援する人材を育成しました。	高校生森林環境理解事業 622,779 円 高校生後継者育成事業 391,418 円
⑦環境学習推進事業 (教育委員会事務局 生涯学習課)	904,960 円	自然体験活動指導者の養成研修等を行いました。	指導者養成研修等委託料 395,000 円 体験活動推進事業 298,306 円 事務費 211,654 円
(2)県民の森や山に対する主体的な活動の支援	26,908,826 円		
⑧こうち山の日推進事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	12,402,773 円	県民一人ひとりが森林や山を守る活動の重要性に対する理解と関心を深めていただくための「こうち山の日(11月11日)」を中心に、県民が主体となって行う活動を支援しました。	こうち山の日推進事業費補助金 10,622,000 円 こうち山の日県民参加支援事業委託料 1,031,145 円 インターネットホームページ作成委託料 293,760 円 森林保全作業安全研修委託料 455,868 円 パンフレット等作成委託料 542,160 円 森林環境税情報誌作成等委託料 6,859,552 円 地域座談会等開催委託料 5,134,400 円 アンケート実施委託料 1,316,520 円 運営委員会開催等事務費 653,421 円
⑨森づくりへの理解と参加を促す広報事業 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	13,852,632 円	森林への関心の高い方に限らず、幅広い県民を対象に、森林環境税の目的や使いみちなどや森林の大切さなどをPRしました。また、次期森林環境税に向けた取組みとして、地域座談会等の開催や県民を交えたアンケートを実施しました。	
⑩運営委員会等開催費 (林業振興・環境部 林業環境政策課)	653,421 円	県民意見の反映や森林環境保全基金の透明性を確保するための運営委員会を開催しました。	
(3)持続可能な山の暮らしを支える森づくりへの支援	30,298,000 円		
⑪木の香るまちづくり推進事業 (林業振興・環境部 木材利用推進課)	30,298,000 円	県内の幼稚園、保育園、小中学校、公共的施設を行う木を活用した取り組みを支援しました。また、公共的空間の内外装に県産材を活用した整備を支援しました。	木の香るまちづくり推進事業費補助金 30,019,000 円 事務費 279,000 円

平成29年度森林環境税活用事業一覧(H28決算額含む)

(単位:千円)

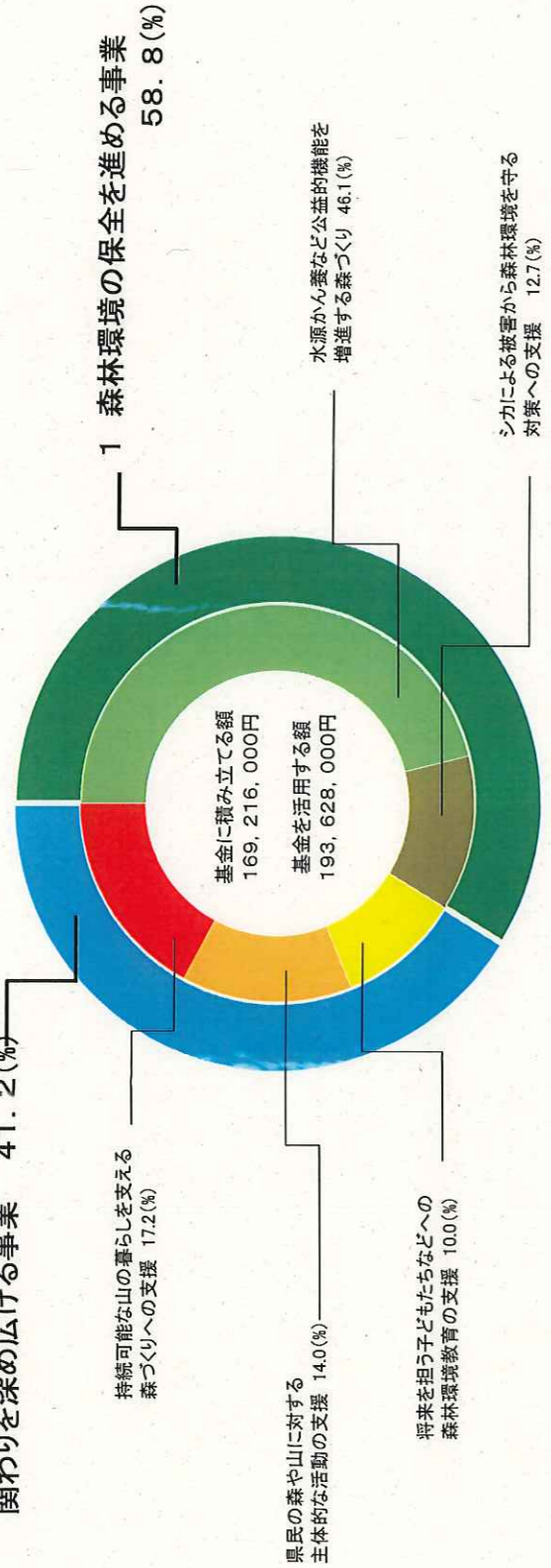
	H29年度予算額			H28年度実績		
	1/18 説明段階	決定額 (a)	率 (a)/(b)	当初予算額 (b)	決算額 (c)	率 (c)/(b)
1		39,200	100.0%	39,200	25,302	64.5%
2		34,512	100.0%	51,441	22,850	44.4%
3		15,558	100.0%	0	0	0.0%
4		0	0.0%	5,851	1,227	21.0%
4		16,000	100.0%			0.0%
5		8,527	100.0%	8,101	8,029	99.1%
6		1,288	100.0%	1,288	950	73.8%
7		979	100.0%	891	623	69.9%
8		640	100.0%	546	392	71.8%
9		18,000	91.7%	16,000	12,115	75.7%
10	1	3,867	100.7%	793	542	68.3%
10	2	6,861	100.0%	6,861	6,860	100.0%
10	3	0	0.0%	5,159	5,135	99.5%
10	4	0	0.0%	1,330	1,316	98.9%
11	1	2,922	100.0%	2,224	1,325	59.6%
11	2	11,563	100.0%	11,563	10,622	91.9%
12		1,685	100.0%	1,597	653	40.9%
13		221	100.0%	754	456	60.5%
14		33,279	100.0%	43,279	30,298	70.0%
	計	195,102	99.2%	196,878	128,695	65.4%

※ 上記の各事業のH28年度決算額は、千円未満は切り上げを行っている。そのため、各事業を数値を足しあわせても、決算額の合計額128,648千円(128,648,253円)とは一致しない。

平成29年度 森林環境税の活用について（予算額）

県民の皆様からお預かりした森林環境税で、森林の公益的機能を高めるための間伐や、シカ被害対策などの「1 森林環境の保全を進める事業」と、小中学校などで行われる森林環境教育や「こうち山の日」の取り組み、公共的施設の木質化などの「2 県民の森林への理解と関わりを深める事業」の2つの事業を柱に取り組みます。

2 県民の森林への理解と関わりを深める事業 41.2 (%)



水源かん養など公益的機能を増進する森づくり 46.1 (%)

シカによる被害から森林環境を守る対策への支援 12.7 (%)

〔内 訳〕

■一般財源 (入) 繰入金 (財) 財産収入 (寄) 寄附金収入		169,216,000円	
■基金に積み立てた額		169,216,000円	
積立金	内容	決算額	内訳
森林環境保全基金積立金	森林環境保全のための森林環境税の経理を区分するとともに、森林環境税による事業を計画的、効率的に実施するため、その税収相当額を基金に積み立てます。	169,216,000円	森林環境保全基金積立額 ・森林環境保全基金造成額 ・運用益積立額 ・寄附金積立額
(一) (入)		169,000,000円	169,000,000円
(寄) (財)		116,000円	116,000円
(寄) (財)		100,000円	100,000円
■一般財源 (入) 繰入金 (財) 財産収入		193,628,000円	
事業名 (担当課名)	内容	決算額	内訳
1 森林環境の保全を進める事業		113,797,000円	
(1) 水源かん養など公益的機能を増進する森づくり		113,797,000円	
(入)		89,270,000円	
(入)		39,200,000円	公益林保全整備事業費補助金
(入)		39,200,000円	みどりの環境整備支援交付金
(入)		34,512,000円	34,512,000円
(入)		34,512,000円	15,558,000円
(入)		15,558,000円	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業補助金
(入)		24,927,000円	16,000,000円
(入)		24,927,000円	シカ捕獲推進事業費補助金
(入)		16,000,000円	16,000,000円
(入)		8,927,000円	2,560,000円
(入)		8,927,000円	1,063,000円
(入)		8,927,000円	4,904,000円
2 県民の森林へ関わりを深める事業		79,831,000円	
(1) 将来を担う子どもたちなどへの森林環境教育の支援		79,831,000円	
(入)		19,407,000円	
(入)		1,288,000円	395,000円
(入)		1,288,000円	419,000円
(入)		1,619,000円	209,000円
(入)		1,619,000円	265,000円
(入)		16,500,000円	640,000円
(入)		16,500,000円	16,500,000円
(入)		27,145,000円	
(入)		27,145,000円	3,893,000円
(入)		10,754,000円	6,861,000円
(入)		10,754,000円	
(入)		14,485,000円	11,583,000円
(入)		14,485,000円	2,628,000円
(入)		1,685,000円	294,000円
(入)		1,685,000円	1,685,000円
(入)		221,000円	221,000円
(入)		221,000円	
(入)		33,279,000円	
(入)		33,279,000円	33,000,000円
(入)		33,279,000円	279,000円

第四期森林環境税を活用する事業の内容について

事業を実施する時の基本的な考え方: ①既存事業の財源振替を目的としたものは対象外 ②森林環境税を活用したことにより、実施者への直接的な利益(所得の発生)が生じるものは対象外

H29.5.3作成

大区分	小区分	事業区分	事業名	事業課	課題	事業概要	事業費	事業区分	補助率等	国費上乗の有無	所得発生の有無	主たる事業主体	
森林環境の保全を進める事業	柱1 森林の整備	継続	公益林保全整備事業	木材増産推進課	公益的機能の高い若齢林の人工林を中心に、国の造林事業が活用しにくい小規模分散型な森林経営を行う森林所有者を対象に保育間伐を支援しているが費用の負担が、森林経営の意欲の減退を招いていることもあり、引き続き継続して取組む必要がある。	公益的機能の高い人工林を対象とした切捨間伐	24,000 千円	補助	定額	無	無	県民等(市町村有の場合は市町村)	
		継続	みどりの環境整備支援事業	木材増産推進課	CO2の吸収機能の高い若齢林の保育間伐に要する費用の負担増が、森林所有者の森林経営の意欲の減退を招いていることもあり、引き続き継続して取組む必要がある。	CO2吸収機能の高い人工林を対象とした切捨間伐	21,000 千円	補助	定額	無	無	森林組合等(市町村有の場合は市町村)	
		継続	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業	林業環境政策課	森林保全ボランティア団体などによる里山林の保全管理や資源を利用する地域での活動を支援することにより、放置された森林の整備が進むことにより、県民への森林環境の意義について理解していただける取組みであり、今後も継続して取組む必要がある。	里山林の保全管理や利用する地域の取組活動を支援	16,000 千円	補助	総事業費の1/8以内	有	無	活動主体(NPO,ボランティア団体等)	
		新規	一貫作業システム支援事業(仮称)	木材増産推進課	森林所有者の経済的な理由などにより皆伐後の再造林が進まず、いわゆる「造林未済地」が各地で発生しているため、その解消に向けて取り組む必要がある。	皆伐後の速やかな再造林を実施するために必要な経費への支援 (①事業実施主体と森林所有者との合意形成に係る経費(ソフト) ②林業に係る経費(ハード))	4,100 千円	補助	ソフト:定額 ハード:標準 経費の22%以内	有	無	森林組合等の事業体	
	柱2 シカ被害対策	継続	シカ捕獲推進事業	鳥獣対策課	ニホンシカの個体数の増加や生息域の拡大により、シカの食害による農林業被害や自然植生被害が年々深刻化しており、その対策としてシカの個体数を調整することが重要であるため、効果的な効果が期待できるくわなの配付を継続して取組む必要である。	ニホンシカの個体数を調整するため、県内のわな猟免許所有者に対してくわなの購入経費を補助	16,000 千円	補助	定額	無	無	市町村	
		継続	希少野生植物食害対策事業	環境共生課	ニホンシカの食害被害による貴重な希少植物への食害被害が深刻化していることから、食害の危険がある箇所等に防護柵を設置しているが、保護する希少植物が増えることに伴い管理する箇所数が増しており、県の希少植物を絶滅させない取組みを継続して取組む必要である。	ニホンシカによる希少野生植物の食害被害を防止するための、現況調査や防護柵を設置	9,870 千円	委託	-	無	無	県立牧野植物園、森林組合等	
	県民のみなさんの森林と関わりを深め広げる事業	柱3 森林環境教育	継続	環境学習推進事業	生涯学習課	自然体験活動等の指導者を養成するとともに地域の青少年育成団体へ派遣や、子どもが主体的に取り組む中山間地域活性化のための課題解決体験の支援したことにより、指導者の増加と、子どもたちへの身近な環境について理解促進を図れていることから、今後も引き続き継続していく必要がある。	事前体験活動等の指導者養成、地域の活動へ講師を派遣、中山間活性化のための活動を支援	900 千円	委託	-	無	無	任意団体
			継続	高校生森林環境理解事業	高等学校課	持続可能な森林環境の保全への取組を進めていくためには、将来を担う世代に森林への理解と関心を持ってもらえるよう、今後も継続した取組を行う必要がある。	都市部の子どもたちに森林保全の重要性の理解と体験を通じて、森林保全を支援する人材を育成	979 千円	直轄	-	無	無	県立学校
継続			高校生後継者育成事業	高等学校課	車両系建設機械の資格取得は、一度に受講できる人数に限りもあるが今後の進路にも必要と思われる資格であることから、継続して取組む必要がある。	県内の高校生を対象に、林業の現場で必要とされる車両系建設機械などの資格取得を支援	640 千円	直轄	-	無	無	県(県内の高校)	
新			高校生対象技術研修・職場体験事業(仮称)	森づくり推進課	農業高校や工業高校など技術系の高校生に加え、普通科の生徒へのアプローチなど、対象者の拡大を図っていく必要がある。また、高校生の就職に対する意識の把握と林業での進路の提案(林業事業体への就職、林業学校基礎課程への進学など)を継続して実施していく必要がある。	将来の担い手として期待できる高校生を対象に、出前研修会の開催や林業事業体への見学等を支援	2,586 千円	補助	定額	無	無	公益財団法人	
継続			山の学習支援事業	林業環境政策課	県内の小・中学校での総合的な時間を活用し森林環境学習を行うことで、日頃森林との関わりが少ない児童・生徒に森林への理解や関わりを深めることができていることから、今後も引き続き継続していく必要がある。	小中学校が行う総合学習の時間に行う森林環境教育を支援	17,000 千円	補助	定額	無	無	市町村(教育委員会)、学校法人等	
新			木育推進事業(仮称)(案)	(仮)幼保支援課	子どものころから自然環境に触れさせることのできる森林環境教育は幼少教育上、とても重要であることから、幼児を対象とした自然とふれあえる活動や木製品の遊具を導入する取組みを支援する必要がある。また、森林を身近に感じるための活動として、園児及び保護者を対象とした木のぬくもりに触れると仕組む必要がある。	園児に木の温もりを知ってもらうことを目的とした木製遊具の購入や、園児及び保護者を対象に、森林を身近に感じるための活動や木のぬくもりに触れる取組を支援	37,625 千円	補助	定額	無	無	市町村、学校法人等	
柱4 県民の主体的活動の支援		継続	森づくりへの理解と参加を促す広報事業	林業環境政策課	県民に対し、森林環境税に限らず森林への理解と関心を深めるため、幅広い広報活動を行ったことで、一定理解と関心を得ることができているため、今後も引き続き継続した取組が必要である。	幅広い県民を対象に、森林環境税の目的や使いみちなどや森林の大切さなどをPR	7,800 千円	直轄	-	無	無	県(県内の高校)	
		継続	こうち山の日推進事業	林業環境政策課	「こうち山の日」への理解と関心を深める活動を推進してきたことで、年々参加人数は増加傾向であることから、今後も引き続き継続した取組が必要である。	「こうち山の日」を中心とする県民が主体となって行う活動を支援	17,800 千円	補助	-	無	無	ボランティア団体等	
		継続	運営委員会等開催費	林業環境政策課	森林環境保全基金の適正な運営を図るため、基金運営委員会の開催を行う必要がある。	県民意見の反映や森林環境保全基金の透明性を確保するための運営委員会を開催	1,700 千円	直轄	-	無	無	森林環境税基金運営委員会	
		継続	林業学校研修費	森づくり推進課	森林保全ボランティア活動を行う方を対象に、伐倒作業等や車両系林業機械の操作等に係る研修を支援しており、森林整備活動の安全な作業実施を引き続き推進するためにも、継続した取組を行う必要がある。	森林保全ボランティア活動を行う方を対象に、伐倒作業等や車両系林業機械の操作等に係る研修を実施	500 千円	委託	-	無	無	公益財団法人 ただし、受講者は森林ボランティアを実践したい方が対象	
柱5 木材利用の促進	継続	木の香るまちづくり推進事業	木材産業振興課	これまでの取組により、一定、県民のみなさんが日常生活の中で身近に触れ合う場所に木材利用を進めてきましたが、今後も、より多くの空間に木材利用を進めることにより県産材の需要を拡大していくことが重要であることから、継続して取組む必要がある。	公益的施設への木造化や公共的空間の木質化の県産材を活用した整備を支援	35,200 千円	補助	1/2以内 補助上限あり	無	無	市町村、学校、公益団体等		
	新	木づかい普及啓発事業	木材産業振興課	国産材の利用が減少している状況にあるため、木材の利用拡大を図り木を使うことが環境を守ることに繋がっていることを、見て、触って、体験する「木育」の視点を取り入れ、県民が木の良さを感じることができる機会の創出が必要であることから、「木づかい推進月間」を開催しているイベントの取組を支援する必要がある。	「木づかい推進月間」を開催するイベントを通じ、木材利用の普及啓発と森林の重要性を広く一般県民に対し行う普及啓発への取組を支援	6,000 千円	補助	2/3以内	無	無	一般社団法人		
合計							219,700 千円						